

	寄附使途区分	事業名	事業紹介	
1	ふるさとの自然環境および景観の保全・活用	環境保全費	<p>未来のために美しい地球、ふるさとの自然環境を守ることが私たちの責任であると考え、安来市地球温暖化対策地域協議会と連携し、温暖化対策の普及啓発に積極的に取り組みました。また、幼保施設での木育活動、小学校の環境活動支援、環境イラストコンテストなどを継続実施し、子どもたちの環境意識を高めてきました。特に令和5年度の新たな取組みとして、炭素の土中固定に貢献するバイオ炭の普及促進や、環境×IT人材育成を目的としたロボコン大会なども実施しました。</p> <p>これからも、未来を担う子どもたちへ環境教育を推進し、市民一人ひとりが自分たちにできることを考え、行動するきっかけを提供していきます。</p>	 
		農業振興費	<p>安来農林振興協議会は市、JA、しまね東部森林組合など関係機関で組織する、地域に根ざした農林業の発展を目的とした活動を行う団体です。</p> <p>例年秋に開催する農林業祭においては、安来市の豊かな農地で生産された安心・安全な農産物や、広大な中山間地域で育まれた林産物などを消費者に提供することで、農林業振興と地産地消の推進を図っています。令和5年度においては、野菜の重さ当て競争やチェーンソー講習、抽選会など体験型イベントを拡充し、約2,300人が来場し大いに賑わいました。</p> <p>今後も各種イベント、支援事業を通じて地域農林業を支援し、農地や山林の維持による豊かな自然環境および景観の保全・活用に努めていきます。</p>	
2	子どもの健全育成・ふるさと教育の推進	ふるさと教育推進事業費	<p>市内小中学校の全児童・生徒を対象に、地域の教育資源「ひと・もの・こと」を活用したふるさと教育を行っています。9年間の系統的・発展的な教育活動を通じて、子どもたちの地域への愛着・誇り、貢献意欲、実行力等を高めることを目指しています。</p> <p>地域の教育資源を最大限に活用した教育活動を展開し、様々な世代が関わり合いながら子どもたちの学びを支える環境づくりを進めるために、これからも学校・家庭・地域が相互理解のもとで連携・協働した取り組みを進めていきます。</p>	  
		ICT教育推進事業費	<p>教育用タブレット端末や大型提示装置を市内全ての小中学校に配置し、授業や学校行事で活用しています。子どもたちはデジタル教科書や協働学習アプリケーション、プログラミング教材を利用し、相互に関わり合いながら学びを深めています。</p> <p>今後もICTを活用した「情報活用能力の育成」や「学びを深める授業」を目指し、利活用を進めていきます。</p>	
		学校図書館活性化事業費	<p>市内全小中学校の学校図書館に学校司書を配置し、図書の紹介や読書指導を行うほか、授業の中では図書館を活用した調べ学習などに取り組んでいます。また、学校司書は年に複数回の研修に参加し、学校図書館機能の向上を図っています。</p> <p>各学校では、図書管理システムを活用して図書の貸出を行っており、貸出データから読書傾向を把握し、児童生徒の個別の状況に応じた図書の紹介や読書指導を通じて、貸出冊数の増加や読書の幅が広がるよう支援しています。</p>	
		小学校管理事業費 中学校管理事業費	<p>安来市内の17小学校及び5中学校について、学校教育の設備及び運営について充実を図っています。</p> <p>安来市では、校務事務のDXを推し進めています。紙からデータへの移行にとどまらず、教職員の働き方改革や、データの利活用を通じた教育指導の質の向上につながる教育ICT環境の整備を行い、多様な子どもたちひとりひとりに即して、その力を最大限に引き出す学校教育の実践を目指しています。</p>	
		小学校給食管理費	<p>市内各学校に給食配膳員を配置し、児童生徒への配膳指導をはじめ、配膳室の衛生管理や提供体制を整え、児童生徒に対して安全、安心な給食を提供しています。</p> <p>今後も、安全、安心な給食が提供できるよう、努めていきます。</p>	

2	子どもの健全育成・ふるさと教育の推進	放課後児童健全育成事業費	<p>核家族や共働き家庭の増加、地域の繋がりの希薄化などを背景に、「こどもの居場所づくり」が強く求められています。</p> <p>そのための取り組みのひとつとして、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）では、保護者が就労等で家庭にいない小学生が、放課後や長期休業時に、安全安心に過ごせる生活と遊びの場を提供しています。</p> <p>現在、各地域のご協力のもと、公設、民設併せて17のクラブを開設し、安来の子ども達の健やかな成長を支えています。</p>	
		教育支援センター運営事業費	<p>センター長1名、相談員及び支援員11名を配置し、心理的・情緒的な要因で登校できない状態や集団に適應できない状態にある児童・生徒の学校復帰及び社会的自立を目指した支援の場として、教育支援センター『あすなろ』を運営しています。</p> <p>今後も保護者や教職員を含めた教育相談、児童生徒一人一人の状況に合わせた学習活動などの個別支援や少人数集団でのさまざまな体験活動を通じた支援を行い、児童生徒の居場所の確保や社会的自立への援助を続けていきます。</p>	
3	地域医療・福祉の充実	福祉医療費	<p>重度の障がいのある方、ひとり親家庭の医療費を助成することで、疾病の早期発見と早期治療に努めるとともに、医療費負担の軽減を図り、地域医療・福祉を充実させています。</p>	
		小児予防接種事業費	<p>予防接種法に基づく定期予防接種は、感染のおそれがある病気の発生やまん延を予防し、また他の子にうつさないようにするために実施しており、子どもたちの健康保持に寄与しています。</p> <p>今後も、予防接種により免疫水準を維持し、多くの子どもを感染症から守るため、予防接種の接種機会を安定的に確保し、接種率向上に向けて取り組んでいきたいと考えています。</p>	
		保健体育総務費	<p>安来市のスポーツ及びレクリエーションの啓発・指導及び奨励や各種大会・講習会の実施及び支援等を達成するため、年間を通して事業を展開しました。</p> <p>市ではライフステージに応じたスポーツ活動を推進しています。市スポーツ協会は、スポーツ少年団や各種競技団体など幅広い年齢層が所属する団体等で組織されており、市のスポーツ施策の実施において、重要な機関の一つであると考えています。</p>	
4	指定しない	企業立地推進事業	<p>産業の振興と雇用の促進を図ることを目的とし、市内に施設を新設又は増設する企業に対し、奨励金を交付しました。</p> <p>令和5年度実績 立地奨励金 1件（製造業） 雇用奨励金 1件（製造業）※交付見込含む</p> <p>これにより、市内産業の高度化と雇用の増大が図られ、定住に寄与されるものです。</p> <p>今後も奨励金制度の周知に努めつつ、企業誘致等のインセンティブとしたいと考えています。</p>	
		市立図書館費	<p>市立図書館3館（安来、広瀬、伯太）の図書館管理システムについて、システムを更新し、利用者への新たなサービスとして、セルフ貸出機能、スマートフォンやマイナンバーカードからの貸出機能などを追加することとし、利用者の利便性が向上しました。</p> <p>今後もシステム機能の更新を行いながら、サービスを向上させ、利用者の増加を図ります。</p>	
5	クラウドファンディング型ふるさと納税	月の輪まつり振興会補助金	<p>やすぎ月の輪まつりは、8月14日から17日の4日間開催し、安来の夏の風物詩となっています。</p> <p>令和5年度は残念ながら台風接近により、花火大会とイベントは中止し、月の輪神事のみの実施となりました。</p> <p>今後も、地域一体となって盛り上がる月の輪まつりとなるよう取り組みます。</p>	
		戦国尼子フェスティバル	<p>実行委員会に補助金を交付し事業を実施しました。</p> <p>武者行列では地元保育園児「尼子キッズ隊」や中学生の「尼子なぎなた隊」、地元公立高校の生徒がポスター、チラシ、パンフレットのデザイン画を作成するなど、安来市内の幼児から高齢者までの幅広い年代が主体的に参加したことで、改めて「月山富田城」・「尼子氏」の魅力を発見・認識する機会となり、歴史のまちに誇りを持ち、広瀬地区の皆さんが地域の重要な観光資源・文化遺産を活用し、今後も主体的にまちづくりに取り組んでいくための土壌の醸成に寄与できました。</p> <p>次回は令和10年（2028年）に第9回戦国尼子フェスティバルを開催する予定としています。</p>	